

プロテインゲラニルゲラニルトランスフェラーゼタイプI

Cat. No. EXWM-2796

Lot. No. (See product label)

はじめに

概要 この酵素は、タンパク質ファルネシルトランスフェラーゼ (EC 2.5.1.58) およびタンパク質ゲラニルゲラニルトランスフェラーゼタイプ II (EC 2.5.1.60) と共に、タンパク質プレニルトランスフェラーゼファミリーの酵素を構成します。ゲラニルゲラニル基のC-1原子と、タンパク質のC末端から4番目のシステイン残基との間にチオエーテル結合を形成する反応を触媒します。これらのタンパク質受容体は、C末端配列CA1A2Xを持ち、末端残基Xは好ましくはロイシンであり、セリン、メチオニン、アラニン、またはグルタミンがあると、タンパク質はEC 2.5.1.58の基質となります。酵素はA1に関して特異性が緩やかですが、A2が芳香族である場合は作用できません。この酵素の既知の標的には、ほとんどのγサブユニットのヘテロ三量体Gタンパク質や、RasおよびRac/RhoファミリーのメンバーなどのRas関連GTPアーゼが含まれます。亜鉛メタロ酵素です。Zn²⁺はペプチド基質の結合に必要ですが、イソプレノイド基質の結合には必要ありません。

別名 GGTase-I; GGTaseI

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 2.5.1.59

CAS登録番号 135371-29-8

反応 ゲラニルゲラニル二リン酸 + タンパク質-システイン = S-ゲラニルゲラニル-タンパク質 + 二リン酸

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。